

2023年5月7日(日曜日)
ライフパーク倉敷 視聴覚ホール
(倉敷市福田町古新田940)

Okayama Prefecture Triathlon Association (OTA)



一般社団法人

岡山県トライアスロン協会

第3回(2022年度)総会

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会(OTA)
〒700-0986 岡山市北区新屋敷町3-11-3
事務局 TEL:090-5373-8866
e-mail:okym-tri@mx35.tiki.ne.jp
URL: <http://ww35.tiki.ne.jp/~okym-tri/>

総会次第

1. 開会あいさつ
2. 来賓あいさつ
3. 議長および書記の選任
4. 議案(審議事項)
 - (1) 2022年度事業報告、決算報告および監査報告について
 - (2) 2023年度事業計画および予算(案)について
 - (3) OTA運営体制(案)について
5. 報告事項
 - (1) JTU社員報告およびJTU中国ブロック協議会報告
6. 閉会あいさつ

司会:一般社団法人 岡山県トライアスロン協会 長谷川 博三

1. 開会あいさつ

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会 会長(代表理事) 繁田 政男

2. 来賓あいさつ

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会 顧問 衆議院議員 逢澤 一郎 様

3. 議長および書記の選出

議長:

書記:

4. 議案(審議事項)

(1) 2022 年度事業報告、決算報告および監査報告について

【別紙資料①】 2022 年度事業報告

【別紙資料②】 2022 年度決算報告

【別紙資料③】 2022 年度監査報告

(2) 2023 年度事業計画(案)および予算(案)について

【別紙資料④】 2023 年度事業計画(案)

【別紙資料⑤】 2023 年度予算(案)

(3) OTA 運営体制(案)について

【別紙資料⑥】 2023~2024 年度役員(案)および、2023 年度各委員会組織(案)

5. 報告事項

(1) JTU 社員報告および JTU 中国ブロック協議会報告

6. 閉会あいさつ

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会 副会長 丸山 彰治

2022 年度事業報告

1. OTA の状況(事務局)

(1) 会員の登録状況(2022 年度/2023 年度)

OTA/JTU への登録者は、2021 年度まで減少してきましたが、2022 年度、2023 年度と増加してきています。新型コロナウイルス感染症に関する行動制限等が緩和され、大会の開催が再開されたことによる物と考えております。今後、早い段階で会員数を 350 名程度まで回復させ、維持することにより、OTA の運営が安定して継続できることを当面の目標としています。

2022年度会費収入（JTU会費含む）

登録区分	人数	JTU会費	JTU会費計	協会会費	協会会費計
一般新規	52	1,000	52,000	4,000	208,000
一般継続	56	1,000	56,000	3,000	168,000
団体新規	13	500	6,500	4,000	52,000
団体継続	78	500	39,000	3,000	234,000
高校生	1	300	300	1,200	1,200
中学生	1	100	100	900	900
小学生	0	100	-	400	-
審判限定	3	-	-	2,000	6,000
合計	204		153,900		670,100
					824,000

JTU+協会

2023年度会費収入（JTU会費含む）

2023年4月23日登録承認まで

登録区分	人数	JTU会費	JTU会費計	協会会費	協会会費計
一般新規	38	1,000	38,000	4,000	152,000
一般継続	70	1,000	70,000	3,000	210,000
団体新規	31	500	15,500	4,000	124,000
団体継続	87	500	43,500	3,000	261,000
高校生	1	300	300	1,200	1,200
中学生	1	100	100	900	900
小学生	0	100	-	400	-
審判限定	4	-	-	2,000	8,000
合計	232		167,400		757,100
					924,500

JTU+協会

(2) 団体登録チームの状況(2022年度/2023年度)

2021年度、2022年度団体登録チームについて

2023年4月23日現在

団体登録チーム名	代表者名	2022年度	2023年度
岡山アイアンマントライアスロンクラブ	大和 信彦	7	7
Bon Vivant	宗定 敏文	8	10
アミーゴ倉敷トライアスロンクラブ	丸山 彰治	10	13
津山トライアスロンクラブ	見世 幸夫	0	0
チームままかり	中尾 信夫	8	8
東雲爆走隊	奥田 茂	4	4
チームウェーブ	原田 恭雄	23	30
三菱ケミカルトライアスロンクラブ	日下 一正	7	7
No Limits	由淵 真	0	0
ち～む☆のざき	岩崎 功	5	7
児島AC	田中 泰志	6	10
SBR Phoenix	井上 朗弘	3	4
アスランクラブ	宇野 真理子	0	0
TEAM BLUE DOG	山本 温	4	18
合計		85	118

書面

書面

- 審判限定会員は含んでおりません。
- 団体登録とは、岡山県在住の代表者のもと、OTA 正会員 5 名以上で構成される団体で、団体単位で登録(OTA、JTU)することを言います。
- 新規で団体登録を希望される団体の代表者の方は、OTA 事務局まで、ご連絡・お問合せください。
- 皆生大会への出場推薦:2022 年アミーゴ倉敷トライアスロンクラブ、2023 年東雲爆走隊

(3) 審判員資格保有者(技術・審判委員会)

JTU 審判員(第 1 種)	女子	<u>0</u> 名	男子	<u>4</u> 名
JTU 審判員(第 2 種)	女子	<u>6</u> 名	男子	<u>15</u> 名
JTU 審判員(第 3 種)	女子	<u>7</u> 名	男子	<u>31</u> 名
WT TO(レベル 1)	女子	<u>0</u> 名	男子	<u>1</u> 名
WT TO(レベル 2)	女子	0 名	男子	0 名

(4) 指導者資格保有者(指導者委員会)

JTU 公認初級指導者	3 名 (制度変更のため、専門科目に移行する必要あり)
JTU トライアスロン専門科目	0 名 (初級・中級保持者が移行し、さらにコーチ 1 に移行する)
JSPO アシスタントコーチ	0 名 (2021 年度より新設)
JSPO トライアスロンコーチ 1	12 名 (うち、 <u>女性 2 名</u>)
JSPO トライアスロンコーチ 3	0 名 (2022 年度より新設、ワールドクラスコーチ)

2. 普及委員会／指導者委員会

(1) 県内関係大会開催の状況

2022年度は、倉敷ジュニアトライアスロン大会のみが開催となりました。開催にあたっては、参加定員の削減、感染拡大防止のための措置を行いました。エントリーは185名でした。当日は豪雨の影響で開始時間を1時間遅らせましたが、エントリー者が少なかったため、時間内に対応することができました。日赤の協力を得ることができませんでしたが、OTA関係者にメディカルスタッフを依頼し、救護体制を整えることができました。大会については落車等による保険対応となる事案もありましたが、感染症の拡大もなく、概ね無事に閉会することができました。

デュアスロン in しんごうは開催地域への新型コロナウイルス持ち込みの懸念から、倉敷国際トライアスロンについては感染拡大状況等の総合的判断から、各大会実行委員会が開催中止を決定しました。

(2) スイム体験会の実施(ジュニア対象)

ジュニア大会開催前に、児島マリンプールでスイム体験会を実施しました。参加者は23名でした。

(3) なたさきデュアスロンの計画

OTA所属選手の大会出場の機会の創出と、所属審判員の技能向上を目的として、デュアスロン大会の開催を計画しておりました。クローズドサーキットである、なたさきレークサイドパーク(岡山市南区)を会場に、2022年度の開催を目標としておりましたが、準備が整わず開催を見送りました。

3. 技術・審判委員会

(1) 審判員等の派遣

日程	大会名称等	派遣予定
6/11～6/12	さくらおろち湖スプリント／中国ブロック選手権／岡山県国体予選(島根県)	8名
7/2～7/3	サンポート高松トライアスロン2022(香川県)	11名
7/16～7/17	全日本トライアスロン皆生大会(鳥取県)	8名
8/21	倉敷ジュニアトライアスロン大会2022(倉敷市)	ボランティア
9/3～9/4	2022 さくらおろち湖トライアスロンフェスティバル(島根県)	5名
9/3～9/4	今治伯方島トライアスロン2022(愛媛県)	8名
9/10～9/11	2022 日本学生選手権観音寺大会(香川県)	2名
10/8	福山かわまちトライアスロン2022(広島県)	2名
3/21	JTU認定記録会岡山会場(岡山市)	12名

(2) 審判員の育成

3月12日(日)に、2022年度JTU公認審判員資格講習会を開催しました。新型コロナ感染症拡大防止対策を行い、対面方式で講習会を実施し、理解度確認テストで合否判定を行いました。新規受講者は、3種:3名、更新講習受講者は、2種:5名、3種:11名で、受講者は全員合格でした。

8月に計画しておりました審判講習会につきましては開催できませんでした。

(3) JTU 中国ブロック協議会との連携

6月12日に開催された、さくらおろち湖スプリント／中国ブロック選手権へ審判長を派遣した。

(4) JTUセミナー等への参加(Webセミナー)

1月19日 トライアスロン・パラトライアスロン Technical Official セミナー (参加者2名)

3月19日 2023 ワールドトライアスロン競技規則変更点 TO 説明会 (参加者1名)

4. 強化委員会

(1) 国体選手の選考、選手／監督等の選考

6月12日に国体予選会を開催(さくらおろち湖スプリントトライアスロン大会併催)し、岡山県代表選手を選考しました。エントリーは男子4名、女子3名でした。監督およびマネージャー、トレーナーについては、実績を基に有資格者から選考しました。選考結果については、7月度合同会議で承認をうけ、国体へ派遣しております。

成年女子 選手:房野菜乃花(ふるさと)、小椋よう子、監督:溝手珠央

成年男子 選手:安藤勘太(ふるさと)、高橋正俊(ふるさと)、監督:丸山彰治

マネージャー 浅井祐哉(強化委員長)、トレーナー 河本勝成(もずがはな整骨院)

(2) いちご一会とちぎ国体

10月2日に、那須塩原市、戸田調整池周辺特設コースで開催され、(1)項の岡山県選手団を派遣しました。経費の詳細は【別紙資料②-2】の通りです。マネージャー、トレーナーの派遣については、ハイパフォーマンス支援事業の補助金を執行しております。また、レース結果は以下の通りでした。

成年女子 房野菜乃花(DNS)、小椋よう子(80位)

成年男子 安藤勘太(16位)、高橋正俊(25位)

(3) 強化指定選手(OTA)

今年度の強化指定選手は、川崎颯大選手(記録会)、安藤勘太選手(国体)、高橋正俊選手(国体)でした。強化費の執行としては、川崎颯大選手の認定記録会参加費の免除のみでした。

(4) 強化指定選手(岡山県オリンピック育成事業補助金)

今年度、安藤勘太選手(流通経済大学)を推薦し、強化指定選手に認定されました。強化費(150,000円)は、安藤選手のバイク購入費用の一部として執行しました。

(5) OTAトライアスロン練習会/ドラフティング講習会の開催(強化費補助金)

普及委員会、指導者委員会と共同で、3月19日(日)に、なださきレークサイドパークを会場に実施しました。参加者は、トライアスロン練習会10名、ドラフティング講習会2名でした。なお、本練習会/講習会はJTUの地域支援事業を活用して実施しました。

(6) 認定記録会の開催(強化費補助金)

3月21日(火祝)に、OSKスポーツクラブ岡山プール、および岡山県営グラウンド陸上競技場を会場に実施しました。参加選手は8名でした。結果については、JTUの認定記録会のサイトに公表されております。なお、本記録会はJTUの地域支援事業を活用して実施しました。

5. 総務委員会(事務局)

OTAの事務局として総務的な事項全般を行っているほか、JTU、岡山県スポーツ振興課、岡山県スポーツ協会等との渉外業務も行っております。

(1) 会員登録

JTUの会員登録システムで会員登録の業務を行っています。(資格確認、承認) また、団体登録チームの一部については、書面での受付もしております。

(2) 会計業務

協会会計およびジュニア大会会計の出納を行っています。

(3) 会議運営

総会(1回/年)

理事会(4回/年)

理事会・委員会合同会議(毎月)

倉敷ジュニアトライアスロン大会実行委員会(基本毎月)

(4) 情報発信

OTA Web サイト <http://ww35.tiki.ne.jp/~okym-tri/>

倉敷ジュニア公式 Web サイト http://ww35.tiki.ne.jp/~okym-tri/kurashiki_jr/

facebook <https://www.facebook.com/TriathlonOkayama>

2022年度 岡山県トライアスロン協会 決算報告書

収入の部						内訳	
	予算額	決算額	差異				
会費	795,000	824,000	29,000	会費 (JTU会費を含む)	824,000	279,200	2022年度会費(今年度入金分)
						145,400	2022年度会費(Web登録JTU会費)
						399,400	2022年度会費(前年度前受分)
						458,676	国体 監督選手旅費(補助)
補助金	535,000	793,676	258,676	岡山県スポーツ協会	793,676	42,000	競技力向上事業ハイパフォーマンス支援事業補助金
						113,000	競技力向上事業国体成年選手強化事業補助金
				岡山県スポーツ振興課		30,000	スポーツフェスティバル開催事業助成金
						150,000	オリンピック育成事業補助金
主催事業収入	300,000	89,500	▲ 210,500	記録会・練習会	89,500	11,500	8/6スвим記録会
						7,000	3/19ドラフティング講習会
						23,000	3/21認定記録会
				審判講習会		48,000	3/6審判講習会 受講料・更新料
主管料	100,000	0	▲ 100,000	主管料	0		
賛助会員会費	0	0	0	賛助会員協賛金	0		
ジュニア大会参加費	1,200,000	741,750	▲ 458,250	ジュニア大会参加費	741,750		8/21開催(ジュニア大会決算書)
ジュニア大会協賛金	1,600,000	1,505,000	▲ 95,000	ジュニア大会協賛金	1,505,000		8/21開催(ジュニア大会決算書)
				ルールブック			
雑収入	0	45	45	受取利息	45	22	中国銀行口座
				受取利息		23	中国銀行口座(ジュニア)
収入合計	4,530,000	3,953,971	▲ 576,029				

支出の部						内訳	
	予算額	決算額	差異				
大会費用	0	2,131,063	2,131,063	しんごう	0	0	開催なし
	0			倉敷	0	0	開催なし
	100,000		100,000	なださきデュアスロン	0	0	開催なし
	2,600,000		468,937	ジュニア大会費用	2,131,063	2,131,063	8/21開催(ジュニア大会決算書)
事務費	30,000	22,108	7,892		22,108	9,172	インクカートリッジ
						506	電池代他
						12,430	名刺代
備品費	35,000	31,272	3,728		31,272	18,952	tikitikiモバイル接続料(HP容量追加含む)
						12,320	ウィルスバスターライセンス3年契約
						29,408	電話代(2021.4月~2022.1月)
通信費	59,000	55,952	3,048		55,952	26,460	総会案内
						84	その他郵送料
						0	D-FAX年間利用料(サービス終了)
賃借料	82,000	81,062	938	事務所経費	81,062	60,000	家賃@5,000×12ヶ月分
						5,120	電気代
						15,942	水道代
						23,861	交通費
審判旅費交通費	280,000	103,861	176,139	さくらおろち	103,861	0	開催なし
				湯原		0	開催なし
				倉敷		0	開催なし
				アジアカップ		80,000	県外派遣費(JTU大会派遣費枠)
役員旅費交通費	20,000	0	20,000	開催者会議	0	0	開催者会議(WEB開催)
				ブロック会議	0	0	ブロック会議(WEB開催)
				その他	0	0	その他打合せ
租税公課	50,000	50,000	0		50,000	50,000	法人市民税(50,000円)
	0	0	0		0	0	登録免許税(2年毎)
諸手数料	5,000	2,750	2,250	総会	2,750	2,750	振込手数料
会議交際費	30,000	16,563	13,437	その他	16,563	5,000	総会・講師料
				岡山県スポーツ協会	65,000	11,563	弔電(2件)、香典(1件)
登録費分担金	354,100	365,100	▲ 11,000	日本トライアスロン連合	203,900	65,000	岡山県スポーツ協会負担金
				JTU中国ブロック協議会	96,200	153,900	JTU会費(2022年度)
				ジュニア体験会		50,000	社員分担金
				スポーツフェスティバル		46,200	JTU中国ブロック協議会分担金
				トライアスロン講習会	190,413	50,000	ブロック大会分担金
				認定記録会		2,029	8/6ジュニア体験会
				審判講習会		28,699	3/5おかやまスポーツフェスティバル
選手強化経費	763,000	1,037,119	▲ 274,119	選手強化	1,037,119	55,602	3/19トライアスロン講習会
						102,083	3/21認定記録会
						2,000	3/12審判講習会 講師料
						887,119	※国体費用(個人負担金を除く)
雑費	0	0	0	雑費	0	150,000	オリンピック育成事業強化費(安藤勲太)
支出合計	4,568,100	4,087,263	480,837				

収入	3,953,971	
支出	4,087,263	
	▲ 133,292	2022年度収支
	2,233,158	前年度繰越金
	1,417,828	前年度繰越金(ジュニア)
	3,517,694	次年度繰越金合計
未払金	85,331	県外派遣費(80,000)、香典(5,000)3月電気代(331)
前受金	468,500	2023年度会費
	1,533,538	次年度繰越金(ジュニア通帳残高)
	2,537,987	通帳残高(4/5現在)

以上のとおりご報告申し上げます。

一般社団法人岡山県トライアスロン協会 事務局

2023年 5月 4日

事務局長  浮田純子  会計  浮田純子 

第15回 倉敷ジュニアトライアスロン大会 決算報告書

倉敷ジュニアトライアスロン大会実行委員会

開催日:2022年8月21日(日)

科目	金額	内訳
前期繰越金 A	1,417,828	第14回大会より

収入の部

参加費	741,750	通常申し込み@4,000円×178名+追加申し込み@4,250円×7名
協賛金	1,505,000	79団体・個人
助成金	0	
雑収入	23	利息
収入合計 B	2,246,773	

支出の部

保険	21,730	損害保険(選手、ボランティア)
参加賞	129,690	ゼッケン、ステッカー、シール、表彰状、Web記録証
	82,775	タオル
	5,262	マスク
	78,000	図書カード
	154,610	メダル、盾
施設使用料	33,605	児島マリンプール
設備・リース料	581,900	テント、コーン、机、イス、ゲート、バイクラック
計測	272,800	ネオシステム
委託料	66,000	警備
	40,000	救護班(謝礼金)医師3名、看護師4名、搬送1名
放送設備	75,000	MC、音響設備
食料費	35,364	ボランティア補給食
	140,072	選手、ボランティア、救護用の氷、飲料代
印刷費	280,500	ポスター、大会冊子、二次要項作成、広告受付確認作業
送料・通信費	55,167	
事務用品費	2,835	ラベル、封筒
その他	37,400	ボランティアTシャツ
	33,623	手土産、石灰、救護用品、コーステープ等
雑費	4,730	振込手数料
支出合計 C	2,131,063	

単年度収支	115,710	B-C
-------	---------	-----

次期繰越金	1,533,538	(A+B-C)=通帳残高と合致(事務局確認)
-------	-----------	------------------------

上記のとおり収支報告いたします。
2023年3月31日

一般社団法人岡山県トライアスロン協会
第15回ジュニアトライアスロン大会 会計 柘野 佐織

一般社団法人岡山県トライアスロン協会
第15回ジュニアトライアスロン大会 実行委員長 浅井 祐哉

一般社団法人岡山県トライアスロン協会 会長
第15回ジュニアトライアスロン大会 会長 繁田 政男

第77回国民体育大会（栃木国体）選手団派遣 決算報告

2023年3月31日

(一社) 岡山県トライアスロン協会 強化委員会、総務委員会

収入の部

科目	予算額	決算額	差引増減額	内訳
補助金	458,676	458,676	-	国体補助(体協)
補助金	42,000	42,000	-	ハイパフォーマンス支援事業(体協)
協会負担	393,556	386,443	-7,113	前年度、373,822円
個人負担	6,450	6,450	-	国体ジャージ代(単価2,150円)
個人負担	-	2,450	2,450	国体ハーフパンツ代(単価2,450円)
合計	900,682	896,019	-4,663	

支出の部

科目	予算額	決算額	差引増減額	内訳
報償費(日当)	48,000	48,000	-	安藤、高橋、房野、小椋(4名×4日×@3,000)
	24,000	24,000	-	丸山、溝手(2名×4日×@3,000)
	24,000	24,000	-	河本、浅井(2名×4日×@3,000)
旅費(交通費)	269,900	269,900	-	JR乗車券・特急券(詳細別紙)
	26,950	26,950	-	JR乗車券・特急券(房野個人手配分、詳細別紙)
旅費(宿泊費)	207,900	210,600	2,700	選手監督6名×3泊×@11,550(素泊) @11,700
	69,300	70,200	900	コーチ2名×3泊×@11,550(素泊) @11,700
需用費	4,300	4,300	-	国体ジャージ(選手2着×@2,150)
	2,150	2,150	-	国体ジャージ(コーチ1着×@2,150)
	-	2,450	2,450	国体ハーフパンツ
	66,312	74,415	8,103	レースウェア(安藤、房野、名前入り)
	20,000	3,984	-16,016	レンタカー燃料代
	-	5,000	5,000	ガソリン代(安藤)
	7,200	-	-7,200	大会当日弁当代(8名×@900)
	-	770	770	印刷代
	3,060	-	-3,060	JR乗車券・特急券送付費用(6名×510)
	30,000	20,000	-10,000	自転車輸送費往復2台、上限10,000円補助
役務費	-	4,530	4,530	高速代(安藤)
	-	9,740	9,740	ベッド等輸送費(河本)
使用料及び賃借料	35,310	35,310	-	レンタカー(ハイエース)
	25,300	25,300	-	レンタカー(小型)
負担金補助及び交付金	8,000	8,000	-	国体保険料(選手監督コーチ8名×@1,000)
	24,000	24,000	-	国体参加費(選手監督6名×@4,000)
諸手数料	5,000	2,420	-2,580	支払手数料
合計	900,682	896,019	-4,663	

派遣者

監督：丸山彰治、溝手珠央

選手：安藤勘太、高橋正俊、房野菜乃花、小椋よう子

コーチ：河本勝成、浅井祐哉

派遣日程

2022年9月30日(金)～10月3日(月) 選手監督コーチ

監査報告書

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会
会長(代表理事) 繁田 政男 殿


私たち監事は、一般社団法人 岡山県トライアスロン協会の規約に基づき、令和4年4月1日から令和5年3月31日までの幹事の職務の執行を監査いたしました。その結果につきまして、次のとおり報告いたします。

監査意見


- (1) 事業報告等の監査結果
事業報告及びその付属明細書は、定款等に従い、法人の状況を正しく示していると認めます。また、職務の執行に関する不正の行為は、法令もしくは定款に違反するような事実は認められません。
- (2) 会計監査の結果
収入及び支出の計算書類、帳簿、通帳、領収書等を調査した結果、適切に処理されていることを認めます。

2022年5月4日

監事

中尾 信夫 

監事

本郷 信一 

2023 年度事業計画(案)

1. OTA 重点項目(理事会)

トライアスロンがある世の中が、今後も持続し、発展していくため、地方競技団体である OTA(一般社団法人岡山県トライアスロン協会)も持続し発展していかなければなりません。この目的を達成するため、OTA では次の重点目標を掲げ、これを基に各委員会で事業計画を行っております。

(1) 会員数について

会員数の増加につながるイベントを開催し、トライアスロンの魅力を発信する。(2023 年度目標)

会員数を 350 名以上に回復させ、維持をし、協会の運営を安定させる。(3 年以内を目途、中期目標)

(2) 選手強化について

国体成年女子選手 2 名の発掘、育成(2023 年度目標:継続)

ジュニア世代からの選手発掘、強化システムを構築し、国体で入賞できる選手を育成する。(中期目標)

(3) 協会運営について

協会運営組織(各委員会)の活性化を図る。(2023 年度目標)

協会運営組織を次世代への継承し、組織を継続させる。(中期目標)

2. 普及委員会

(1) 県内関係大会開催の状況

5月21日 国体選手選考会(さくらおろちスプリント)

7月9日 デュアスロン in しんごう(共催、競技主管)

選手募集 5月1日～

(公財)OHK スポーツ振興財団の助成(副賞の提供)が決まりました。

8月20日 倉敷ジュニアトライアスロン(主催、競技主管)

選手募集 5月1日～(コロナ前の定員で選手募集)

毎月第3水曜日に実行委員会を開催し、準備を進めています。OTA 会員の方の大会運営スタッフ(ボランティア)を広く募集します。

昨年と同様、(公財)OHK スポーツ振興財団の助成(副賞の提供)が決まりました。

9月10日 倉敷国際トライアスロン大会(競技主管)

コロナ前の規模で開催となります。

(2) おかやまスポーツフェスティバル

岡山県スポーツ協会が主催する、おかやまスポーツフェスティバル(2024 年3月 3 日開催予定)に出展し、「エアトライアスロン」の体験会(ジュニア世代および保護者を対象)を行い、トライアスロン競技の PR を行います。(岡山県営グラウンド)

(3) スイム記録会・講習会、トライアスロン練習会の計画

例年、倉敷国際トライアスロン大会の初心者講習会も兼ねて開催していたスイム記録会・講習会、トライアスロン練習会について開催を計画します。

(4) なださきデュアスロンの計画

2022 年度は開催できませんでしたが、OTA 所属選手の大会出場の機会の創出と、所属審判員の技能向上を目的として、デュアスロン大会の開催を計画します。場所は、なださきレークサイドパークとします。

3. 技術・審判委員会

(1) 審判員の派遣

今年度は大会の開催がコロナ前の状況に戻りつつあります。審判技能の向上の目的もあり、要請がある大会には積極的に審判員を派遣します。(岡山県内外のべ 305 名程度を計画)

審判派遣計画(審判有資格者に募集連絡を行います)

日程	大会名称等	派遣予定
5/21	さくらおろち湖スプリント／中国ブロック選手権／岡山県国体予選(島根県)	7名
6/3	愛南町いやしの郷トライアスロン(愛媛県)	2名
6/4	西日本学生トライアスロン選手権尾道大会(仮称)(広島県)	2名
6/18	はつかいち縦断みやじま国際パワートライアスロン(広島県)	5名
7/9	デュアスロン in しんごう(新見市)	25名
7/16	ひわさうみがめトライアスロン(徳島県)	2名
7/16	全日本トライアスロン皆生大会(鳥取県)	5名
8/6	伊予市トライアスロン大会 in ふたみ(愛媛県)	2名
8/20	倉敷ジュニアトライアスロン(倉敷市)	20名
8/20	トライアスロンさぎしま(広島県)	3名
9/3	サンポート高松トライアスロン(香川県)	5名
9/3	日本学生トライアスロン選手権観音寺(香川県)	2名
9/10	倉敷国際トライアスロン(倉敷市)	35名
9/10	今治伯方島トライアスロン(愛媛県)	2名
9/17	福山かわまちトライアスロン(広島県)	3名
調整中	トライアスロン中島大会(愛媛県)	2名
調整中	福山-鞆の浦トライアスロン(広島県)	5名
調整中	さくらおろち湖トライアスロンフェスティバル(島根県)	5名
12/10	うさぎやリレーマラソン(倉敷市)	10名

上級の審判資格の取得を目指す方につきましては、技術代表、審判長、チーフ等のポジションでの審判活動が資格認定の条件になりますので、技術・審判委員会にお問い合わせください。

(2) 審判員の育成

通常の資格認定講習会については、2024年3月上旬を計画しています。前項でも記載しましたが、上級資格の取得を希望される方はお問い合わせください。

このほか、8月中旬(ジュニア大会開催前)にも資格認定講習会を計画しています。ジュニア大会のボランティアスタッフ(OTA 会員)に大会の運営と合わせて、審判活動にも興味を持っていただくことで、大会および OTA 組織の持続につなげていくことが目的です。

4. 強化委員会

引き続き、男女ともに岡山県にゆかりのある選手について、発掘を行っております。特に女子国体候補選手の発掘が急務であり、学連登録選手(大学生)等について調査を行っています。1名の選手について、国体予選に出場するように要請を行っています。

また、選手の強化育成について、指導者委員会と連携し、新たな制度の構築を推進します。

(1) 国体選手の選考、選手／監督の派遣

国体予選会は、5月21日にさくらおろちスプリント(中国ブロック選手権)に併催し、開催します。岡山県代表選手は、この大会の成績で決定します。国体予選会が実施されなかった場合は、国体予選会に申し込んだ選手の中から、JTU 認定記録会の記録を参考に強化委員会が選考し、理事会・委員会合同会議で決定します。国体監督(JSPC コーチ1資格者)についても、強化委員会が選考し、理事会・委員会合同会議で決定します。

また、コーチおよび予備登録選手の帯同については別途、強化委員会で協議の上、決定します。コーチの派遣費用については、ハイパフォーマンス支援事業の助成申請を行います。

(2) 強化指定選手制度

昨年度より、OTA 独自の強化指定選手制度を創設し、強化合宿参加等のサポートを推進しています。また、安藤勘太選手(流通経済大学4年)につきましては、昨年度同様、岡山県の補助事業、オリンピック育成事業に推薦を行っています。

(3) 認定記録会の開催

2024年3月20日(祝水)開催予定

OSK スポーツクラブ岡山 プール

岡山県総合グラウンド

エリート以外にも、一般選手、ジュニア世代にも参加をお願いします。

5. 指導者委員会

(1) 指導できる場所の提供

普及委員会、強化委員会と連携し、指導者派遣事業((3)項)のほか、OTA 所属の指導者が力を発揮できる場所(イベント等)を提供できるよう、計画します。

(2) 指導者の育成

資格保有者のリストの整理を行い、失効者について復活の手続きを奨励していきます。JTU 公認初級/中級指導者については、資格移行(専門科目→コーチ1、アシスタントコーチ)の案内を行っていきます。コーチ1資格者の更新に必要な講習会についても案内を行い、資格者の維持に努めます。

また、新たに創設された、JSPO トライアスロンコーチ 3 についても、選手強化の面と合わせて、中長期的に取得を目指すコーチを指定し、支援できる体制を整えます。

(3) 指導者派遣事業(今年度中に要項等を整理し可能な限り事業開始)

● 目的

トライアスロンの魅力を普及啓発すると共に競技レベルの向上及び指導者の技術アップを目指す。

● 内容

競技レベルの向上を目指すものが、県協会の指導者の派遣を依頼する。

競技レベルとは、3種目の総合レベルはもちろん、スイム、バイク、ランそれぞれのスキル向上、ウエイトトレーニング、栄養等実地練習及び座学も含めるものとする。

● 事業実施のイメージ

① 指導者の指導可能内容の公開

例:25mから始めるスイム

B&G等のプール及び沙美海水浴場で指導可能

② 依頼者が希望の指導者を選択し、電子メールで県協会へ応募(様式等は検討中)

③ 指導者委員会にてマッチングの上、指導者及び依頼者に連絡

④ 当事者同士が合意の上、指導実施

⑤ 終了後、指導者から指導員会へ報告書の提出

⑥ 報告内容については、抜粋の上公表

● 今後のスケジュール

トライアスロンの魅力を普及啓発すると共に競技レベルの向上及び指導者の技術アップを目指す。

各指導者についての資格等の調査及び更新(資格切れ)の啓発

各指導者への上記事業についてのアンケート調査

本事業に係る規定の作成

報酬等の詳細の決定

(4) JTU 公認指導者養成講習会の開催(2024 年度)

中国・四国ブロック内の持ち回りで開催している JTU 公認指導者養成講習会について、2024 年 11 月～2025 年 3 月に岡山県で開催する予定としています。開催にあたっては、岡山県スポーツ協会へ助成申請を行います。

6. 総務委員会(事務局)

(1) 2023 年度事業

2022 年度事業報告と同様のため割愛します。

(2) 業務改善

総務委員会(事務局)では、協会運営効率の向上、運営コストの削減、また、SDG's への対応の観点から、以下の業務の改善に取り組んでおります。ご理解、ご協力をお願いいたします。

● 印刷物の発送

従来、往復はがきでのご案内(総会)、印刷物の発送(ジュニア最終要項等)を行っていましたが、2022 年度より、電子メールやフォーム入力代替することを推進しております。

● 旅費、日当のお支払い

従来、現金でのお渡し、銀行振り込みとしておりましたが、各種手数料が高額となってきましたので、QR 決済サービス(PayPay 等)を利用した送金を活用していきます。

(3) 協会事務所の移転

従来 of 協会事務所について、老朽化のため取り壊しが決定したため、5 月 1 日より、事務所住所を一旦移転(郵便は転送)しております。備品等はレンタル倉庫に保管(費用負担なし)しております。7 月を目途に新しい事務所に移転となる予定です。移転先住所等、決まり次第、協会公式サイトでお知らせいたします。

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会 2023年度予算（案）

会計期間：2023年4月1日～2024年3月31日

収入の部		支出の部			
会費 (JTU登録費込) 245名見込み (別紙)	981,500	大会費用	300,000	倉敷国際トライアスロン大会	100,000
				デュアスロンinしんごう	150,000
				なださきデュアスロン大会	50,000
		ジュニア大会費用	3,175,000	倉敷ジュニアトライアスロン大会	3,175,000
		事務費	30,000	名刺・文具・印刷代等	30,000
県スポ協補助金 強化費補助金 ハイパフォーマン ススポーツフェス ティバル 国体旅費	113,000 - 30,000 750,000	備品費	35,000	Webサーバーレンタル代	20,000
				事務所消耗品等	15,000
		通信費	34,000	電話代(事務局携帯電話)	34,000
				郵送代(総会関係、今回より電子化)	-
県補助金 オリンピック 育成事業	150,000	賃借料	82,000	家賃	60,000
				電気代	6,000
				水道代	16,000
主催事業収入 記録会(30名) 練習会、講習会等 審判講習会 デュアスロン大会	400,000	審判旅費・日当	355,000	県内大会 倉敷、JTU認定記録会	205,000
				県外大会 愛南、はつかいち、高松、皆生、ひわ さ、さぎしま、中土佐等	100,000
		役員旅費・日当	20,000	中国ブロック選手権派遣(審判能力向上)	50,000
				開催者会議・ブロック会議等	20,000
主管料 大会運営協力金 (倉敷リレーマ ラソン) (倉敷大会)	280,000	租税公課	60,000	法人市民税(50,000円)	50,000
		諸手数料	5,000	登録免許税(2年毎)	10,000
				振込手数料等	5,000
		会議交際費	30,000	総会関連(印刷費)	5,000
				理事会・委員会同会議ほか会場費	5,000
				各種交流会等参加費、慶弔費	20,000
賛助会員会費	-	登録費分担金	391,200	岡山県体育協会分担金	65,000
				JTU中国ブロック選手権大会分担金	50,000
				JTU会費	176,400
		主催事業経費	160,000	JTU社員分担金	50,000
				JTU中国ブロック協議会会費・分担金	49,800
				SWIM記録会・練習会・審判講習会開催費	50,000
				JTU認定記録会	80,000
				おかやまスポーツフェスティバル	30,000
				倉敷リレーマラソン(大会運営)	-
ジュニア大会 参加費(350名)	1,575,000			ドラフティング講習会等	50,000
ジュニア大会 協賛金	1,600,000	選手強化経費	1,527,000	強化指定選手(強化費補助金)	63,000
				国体派遣費(選手4名、監督2名、コーチ1名) 鹿児島県	1,264,000
				オリンピック育成事業(安藤勘太)	150,000
小 計	5,879,500	小 計	6,204,200	年度収支	-324,700
前期繰越金	3,517,694	次期繰越金	3,192,994	※繰越金には災害対策費150,000円(原資:JTU義援金)を含む。	
合 計	9,397,194	合 計	9,397,194		

2023年度予算について

- 会費収入予算(【別紙資料⑤-1】)、ジュニア大会の予算案(【別紙資料⑤-2】)、国体派遣の予算案(【別紙資料⑤-3】)は別紙のとおりです。
- 年度予算で324,700円の赤字となっています。理由としては、協会会員数がコロナ前の状況に戻っておらず、会費収入が事業費と比較して少ない。国体派遣費用のうち、現時点でトレーナー1名の派遣費用が全額協会負担(航空運賃、宿泊費)となっていること。大会の開催状況がコロナ前の状況に回復しつつあり、大会開催費用、審判派遣費用が大きくなったことが挙げられます。
- 国体トレーナーの派遣費用については、ハイパフォーマンス支援事業の申請を行います。(交通費90%)
- 次期繰越金(見込み)3,192,994円(うち、150,000円は災害対策費)については、今後も、OTAの運営のため必要と判断する場合は取り崩しますが、一部は定期預金としておくことも考えております。
- 倉敷ジュニアトライアスロン大会事業の収益、および経費を組み入れておりますので、OTA予算規模が大きくなってまいります。
- 法人化に関する経費の支出として、市民税(50,000円/年)、登録免許税(10,000円)を計上しています。
- 収支(ほぼ収入)の改善に向けて会員数の確保が第一に必要です。350名程度の一般会員の確保が当面の目標になります。魅力ある岡山県トライアスロン協会に進化していく必要があります。(会員サービス、選手強化など)会費収入以外の収入源の確保が必要です。(新規大会の開催、大会運営協力金、賛助会員)特に、今まで受け取れていなかった、大会主管料、開催協力金については、今後、各大会事務局に申し入れを行っていくこととします。

2023年度会費予算案

登録区分	人数	JTU会費	JTU会費計	協会会費	協会会費計
一般新規	45	1,000	45,000	4,000	180,000
一般継続	70	1,000	70,000	3,000	210,000
団体新規	35	500	17,500	4,000	140,000
団体継続	87	500	43,500	3,000	261,000
高校生	1	300	300	1,200	1,200
中学生	1	100	100	900	900
小学生		100	-	400	-
審判限定	6	-	-	2,000	12,000
合計	245		176,400		805,100
					981,500

JTU+協会

第16回倉敷ジュニアトライアスロン大会（2023） 予算案

2023年4月19日

倉敷ジュニアトライアスロン大会実行委員会

開催日：2023年8月20日（日）

前期繰越金	1,204,340	1,533,538	※2023年3月31日
-------	-----------	-----------	-------------

	第14回大会決算	第16回大会予算	差異	14回大会備考	16回大会備考
収入の部					
参加費	1,103,000	1,575,000		14回：275名（参加費：4,000円）	350名出場（参加費：4,500円）
協賛金	1,618,300	1,600,000			14回同様（15回は1,500,000円）
助成金	46,000	-		OHKスポーツ振興財団（タオル代補助）	今回は物品（副賞）の支援となります
雑収入	12	-			
収入合計	2,767,312	3,175,000	407,688		

支出の部					
保険	34,748	45,000	10,252	傷害保険（選手、スタッフ）	
参加賞	192,996	280,000	87,004	レースナンバー／シール、スイムキャップ	単価アップ
	90,720	150,000	59,280	タオル	単価アップ
	188,200	320,000	131,800	メダル、盾	単価アップ
	76,500	76,500	-	図書カード	
施設使用料	36,504	37,000	496	児島マリンスプール	
設備・リース費用	613,980	750,000	136,020	テント、コーン、机ほか（DAI）	音響改善費用を見込む
計測	317,000	510,000	193,000	ネオシステム、Web募集を含む	単価アップ
委託料	88,020	120,000	31,980	警備業者、無線を含む	1名追加
	13,000	13,000	-	日赤（昼食代として）	
放送設備	52,400	52,400	-	MC、音響施設	
食料費	180,000	50,000	-130,000	選手、スタッフ昼食代	スタッフ（100名）のみ軽食準備
	219,194	280,000	60,806	選手（エイド）、スタッフ 氷、ドリンク	15回大会の2倍
印刷費	343,980	350,000	6,020	ポスター、要項、大会冊子	要項なし、印刷数削減
送料・通信費	52,631	5,000	-47,631	最終案内等送付	基本的にメール等に対応する。
事務用品費	1,852	2,000	148	ラベル、封筒	
その他	12,528	50,000	37,472	ボランティアTシャツ	
	35,488	79,100	43,612	石灰、コーステープ、手旗	マスク等、コロナ対策品費用を追加
雑費	4,104	5,000	896	振込手数料	
支出合計	2,553,845	3,175,000	621,155		

9,287 9,071 ←1名当たりの経費

単年度収支	213,467	-	-213,467
-------	---------	---	----------

1名当たりの参加賞費用	1,716.06	2,142.86
-------------	----------	----------

特別国民体育大会（鹿児島国体）選手団派遣 予算案

2023年4月30日
(一社) 岡山県トライアスロン協会 強化委員会、総務委員会

収入の部

科目	予算額	決算額	差引増減額	内訳
補助金	750,000			[見込み] 国体補助(体協) 監督選手のみ対象
補助金	-			[見込み] ハイパフォーマンス支援事業(体協) 未定
協会負担	514,120			前年度、386,443円
合計	1,264,120			

支出の部

科目	予算額	決算額	差引増減額	内訳
報償費(日当)	48,000			選手(4名×4日×@3,000)
	24,000			監督(2名×4日×@3,000)
	12,000			コーチ(1名×4日×@3,000) C
旅費(交通費)	150,120			JR乗車券・特急券(岡山-鹿児島空港往復)@25,020
	25,020			JR乗車券・特急券(岡山-鹿児島空港往復)@25,020C
	444,840			航空券(鹿児島空港-徳之島往復)@74,140
	74,140			航空券(鹿児島空港-徳之島往復)@74,140C
旅費(宿泊費)	216,000			(素泊)@12,000×3泊
	36,000			(素泊)@12,000×3泊C
需用費	80,000			レースウェア2着
	20,000			雑費(ガソリン代、送料)
役務費	40,000			自転車輸送費往復4台、上限10,000円補助
使用料及び賃借料	60,000			レンタカー(ハイエース、小型車)
負担金補助及び交付金	7,000			国体保険料(選手監督コーチ7名×@1,000)
	24,000			国体参加費(選手監督6名×@4,000)
諸手数料	3,000			支払手数料
合計	1,264,120			

派遣者

監督：2名	882,960
選手：4名	
コーチ：1名	147,160

派遣日程

2023年10月6日(金)～10月9日(月) 選手、監督、コーチ

一般社団法人 岡山県トライアスロン協会
2023年度～2024年度役員（案）および、2023年度各委員会組織（案）

理事会（2023年～2024年）

理事	繁田	政男
理事	丸山	彰治
理事	芳谷	治
理事	岡	裕史
監事	中尾	信夫

総務委員会（事務局）

委員長	岡	裕史
委員	白川	卓司
委員	溝手	珠央
委員	磯崎	英彰（ジュニア広告）
委員	柘野	佐織（ジュニア会計）
委員	浮田	純子（会計）

普及委員会

委員長	木南	達昭
委員	田中	泰志
委員	藤井	弘文
委員	山下	優一
委員	國部	浩孝
委員	白川	卓司
委員	佐山	公明

技術・審判委員会

委員長	永田	茂浩
委員	溝手	珠央
委員	長谷川	博三（しんごう）
委員	森田	直道
委員	宗定	敏文
委員	芳谷	治

強化委員会

委員長	浅井	祐哉
委員	岡本	崇
委員	木南	達昭
委員	田川	淳一
委員	河本	勝成（トレーナー）
委員	丸山	彰治

指導者委員会

委員長	木南	達昭
委員	浅井	祐哉
委員	山下	優一
委員	岡	裕史

※委員長、委員には重複しての配置があります。

※O T A運営の円滑化のため、委員の配置、増員につきましては、随時見直します。

監事

監事 中尾 信夫
監事 太宰 信一（外部）

倉敷ジュニアトライアスロン大会実行委員会

大会会長 繁田 政男
大会副会長 田中 泰志
実行委員長 山下 優一
事務局 岡 裕史

J T U中国ブロック協議会

理事 丸山 彰治
理事 溝手 珠央
理事 木南 達昭（アンチドーピング委員会）
委員 芳谷 治（技術委員会）
委員 河合伸一郎（メディカル委員会）
委員 永田 茂浩（審判委員会）
委員 浅井 祐哉（学生委員会）

公益財団法人岡山県スポーツ協会

評議員 繁田 政男

公益社団法人日本トライアスロン連合

社員 繁田 政男